



平成 26 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社天満屋ストア
代 表 者 名 取締役社長 野 口 重 明
(コード番号 9846 東証第二部)
お問合せ先 取締役管理本部長
加 島 誠 司
(TEL 086-232-7265)

特別損失の計上及び第 2 四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成27年2月期第2四半期決算において、下記のとおり特別損失の計上を行いましたので、お知らせいたします。

あわせて、平成26年4月11日に公表いたしました平成27年2月期第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、第2四半期会計期間において、当社の保有する固定資産について2億74百万円の減損損失を特別損失に計上することといたしました。

2. 平成 27 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値と実績との差異 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	37,750	970	770	260	22.51
実績値 (B)	37,250	1,034	856	85	7.41
増減額 (B-A)	△499	64	86	△174	—
増減率 (%)	△1.3	6.6	11.2	△67.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年2月期第2四半期)	39,491	858	760	216	18.70

3. 業績予想と実績との差異の理由

第2四半期連結累計期間につきましては、消費増税後の駆け込み需要の反動や夏場の天候不順による季節商品の不振などもあり、個人消費は低調なまま推移したことなどにより、営業収益は前回予想を下回る結果となりました。

利益面では、粗利益率の改善などにより、営業利益及び経常利益は前回予想から増加し、また、前記「1. 特別損失の計上」により、四半期純利益は前回予想を下回る結果となりました。

以 上